



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年10月27日

上場会社名 株式会社小糸製作所

上場取引所 東

コード番号 7276

URL <http://www.koito.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大嶽 昌宏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山本 英男

TEL (03) 3443-7111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月7日

配当支払開始予定日 平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期 第2四半期	189,833	△ 10.0	8,812	△ 54.4	8,751	△ 48.6	2,888	△ 21.8
23年3月期 第2四半期	210,906	21.6	19,340	243.5	17,011	179.8	3,691	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △2,521百万円 (-%) 23年3月期第2四半期 △8,432百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期 第2四半期	17	97	—	—
23年3月期 第2四半期	22	97	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
24年3月期 第2四半期	324,591		162,686		44.2		892	57
23年3月期	338,760		168,414		43.3		912	55

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 143,436百万円 23年3月期 146,647百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	—	10 00	—	9 00	19 00	—
24年3月期	—	9 00	—	—	—	—
24年3月期 (予想)	—	—	—	—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（平成23年10月27日）公表いたしました「剰余金の配当に関するお知らせ」をご参照ください。

(注2) 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	428,000	△ 0.2	33,000	△ 11.8	32,000	△ 6.8	15,000	49.8	93	34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期2Q	160,789,436株	23年3月期	160,789,436株
24年3月期2Q	89,395株	23年3月期	89,084株
24年3月期2Q	160,700,416株	23年3月期2Q	160,703,240株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。
2. 平成24年3月期の期末配当予想額は未定であります。配当予想額は、予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

(参考) 平成24年3月期の個別業績予想 (平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	215,000	△ 0.3	15,000	△ 5.3	22,000	△ 0.4	14,000	175.8	87	12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成23年7月26日に公表しております個別業績予想は、通期について修正しております。
2. 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、東日本大震災の影響に伴い、期初は自動車産業を含め経済活動は停滞いたしました。官民一体となった復興により回復の兆しが見られるようになりました。海外においては、中国・インド等の新興国での経済成長は見られるものの、北米や欧州での金融不安等があり、世界の経済成長は鈍化いたしました。

自動車産業におきましては、国内では期後半にかけ挽回生産など回復傾向にありますが、震災の影響が大きく生産台数は前年同期に比べ大幅に減少いたしました。海外では、各地域において日本車減産の影響がありましたが、北米・欧州、及びインド等新興国での堅調な生産により、世界の自動車生産台数は前年同期比横ばいとなりました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は、主力の自動車照明関連事業が震災の影響に伴い減収となり、前年同期比10.0%減の1,898億円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

[日 本]

期前半において自動車生産が震災影響に伴い停止、或いは停滞等により大幅に減産となったことから、売上高は前年同期比14.8%減の1,077億円となりました。

[北 米]

震災影響に伴う日本車の生産減少に加え、円高による為替換算の影響もあり、売上高は前年同期比25.8%減の171億円となりました。

[中 国]

日本車の生産が伸び悩むなか、受注活動の強化や拡販に加え、鉄道車両用電装品の受注増もあり、売上高は前年同期比4.2%増の424億円となりました。

[アジア]

日本車の生産が一時減少したものの、タイを中心に受注量が大幅に回復したのに加え、インドネシアでの生産を開始したことから、売上高は前年同期比10.8%増の161億円となりました。

[欧 州]

現地自動車メーカー向けを主体に自動車照明器の拡販活動を展開いたしました結果、売上高は前年同期比5.5%増の63億円となりました。

利益につきましては、グループ各社とともに品質改善、設備投資抑制、原価低減諸施策を強力に推進するなど合理化に努めましたものの、国内外における日本車の減産に伴い大幅減収となったことから、営業利益は前年同期比54.4%減の88億円、四半期純利益は前年同期比21.8%減の28億円となり、各利益ともに前年同期に対し大幅な減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

－ 1. 資産、負債、純資産に関する分析

当第2四半期末の資産につきましては、現金及び預金、受取手形及び売掛金等の減少により流動資産が減少したのに加え、設備投資抑制による有形固定資産の減、投資有価証券の減等もあり、資産残高は前期末に比べ141億円減少の3,245億円となりました。

負債の残高は、短期借入金が増加する一方、支払手形及び買掛金や未払法人税等の減少などにより、前期末に比べ84億円減少の1,619億円となりました。

純資産の残高は、四半期純利益により利益剰余金が増加する一方、為替換算調整勘定等その他の包括利益累計額の減少などにより、前期末に比べ57億円減少の1,626億円となりました。

ー 2. キャッシュ・フローに関する分析

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益76億円、減価償却費93億円を主体に144億円となり、法人税等を支払った結果、66億円の資金を確保いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預け入れによる純増加21億円、設備投資100億円等を実施した結果、116億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入による資金調達33億円を実施するなか、配当金31億円を支払った結果、2億円の収入となりました。

以上により、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ55億円減少の173億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

国内外の経済情勢は、震災復興に取り組んでいるものの、歴史的且つ急激な円高や株安等もあり、実体経済は極めて脆弱であります。加えて国内の電力供給問題や雇用情勢不安、米国景気の回復遅れ、欧州諸国の財政不安もあり、経営環境は依然として厳しく不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、受注活動の強化、生産性向上、相互供給・相互補完に加え、生産量の変化に対応した事業体制の再編成、及び原価低減諸施策の強力な展開を図り、今後とも業績改善に取り組んで参る所存であります。

平成24年3月期通期の業績予想につきましては、売上高は、下半期における日本車の挽回生産を見込むものの、震災、及びタイ洪水災害の影響等により前期比横ばいの予想であります。

利益につきましては、引き続き生産性向上、経費削減、設備投資抑制など費用削減活動を強力に推進いたしますが、震災影響に加え、海外の新工場稼働に伴う固定費負担増などから、営業利益、及び経常利益は前期比減益、当期純利益は、特別損失の減少により前期比増益の見通しであります。

第2四半期末における1株当たり株主配当金につきましては、前期末と同額の9円といたしました。当期末配当金につきましては、経営環境の先行きが依然不透明であることから、現時点、未定とさせていただきます。業績動向を踏まえ、改めて公表させていただく予定です。

今後とも株主皆様のご期待にお応えすべく、更なる収益向上に努めて参りたく存じます。

なお、平成23年7月26日の第1四半期決算短信にて発表いたしました通期の連結業績予想との差異は、以下の通りです。

平成24年3月期 通期 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	430,000	33,000	32,500	15,500	96.45
今回予想(B)	428,000	33,000	32,000	15,000	93.34
増減額(B-A)	△2,000	—	△500	△500	—
増減率(%)	△0.5	—	△1.5	△3.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	428,977	37,434	34,319	10,012	62.30

(参考) 平成24年3月期 通期 個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	211,000	13,000	20,000	12,000	74.67
今回予想(B)	215,000	15,000	22,000	14,000	87.12
増減額(B-A)	4,000	2,000	2,000	2,000	—
増減率(%)	1.9	15.4	10.0	16.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	215,663	15,836	22,085	5,076	31.59

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社であった小糸工業(株)は、平成23年8月1日に小糸工業(株)の完全子会社である小糸工業分割準備(株)を吸収分割承継会社とし、小糸工業(株)を吸収分割会社とする吸収分割を行っております。

また、平成23年8月1日に小糸工業(株)はK I ホールディングス(株)に、小糸工業分割準備(株)はコイト電工(株)に商号変更しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,618	51,257
受取手形及び売掛金	73,405	71,089
有価証券	2,064	1,761
たな卸資産	41,121	36,911
繰延税金資産	3,317	3,191
未収入金	14,209	14,414
その他	6,352	7,394
貸倒引当金	△13,040	△12,962
流動資産合計	182,048	173,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,811	29,044
機械装置及び運搬具（純額）	24,061	22,545
工具、器具及び備品（純額）	10,138	9,678
土地	13,533	13,292
建設仮勘定	2,944	4,736
有形固定資産合計	81,490	79,297
無形固定資産	1,471	1,305
投資その他の資産		
投資有価証券	60,107	55,506
長期貸付金	145	121
繰延税金資産	11,617	13,498
その他	2,095	2,022
貸倒引当金	△215	△218
投資その他の資産合計	73,749	70,930
固定資産合計	156,711	151,533
資産合計	338,760	324,591

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	69,303	63,422
短期借入金	20,265	22,709
未払費用	15,132	16,048
未払法人税等	6,103	3,027
賞与引当金	4,557	4,210
役員賞与引当金	329	160
製品保証引当金	1,400	1,400
その他	6,941	5,535
流動負債合計	124,033	116,514
固定負債		
長期借入金	5,964	5,292
退職給付引当金	28,549	28,959
役員退職慰労引当金	1,558	1,297
損害賠償引当金	9,486	9,029
環境対策引当金	234	240
その他	519	570
固定負債合計	46,311	45,389
負債合計	170,345	161,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,270	14,270
資本剰余金	17,107	17,108
利益剰余金	117,139	118,581
自己株式	△74	△75
株主資本合計	148,443	149,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,614	△837
為替換算調整勘定	△3,410	△5,611
その他の包括利益累計額合計	△1,796	△6,448
少数株主持分	21,767	19,250
純資産合計	168,414	162,686
負債純資産合計	338,760	324,591

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	210,906	189,833
売上原価	175,609	164,513
売上総利益	35,296	25,319
販売費及び一般管理費	15,955	16,506
営業利益	19,340	8,812
営業外収益		
受取利息及び配当金	608	506
持分法による投資利益	0	2
その他	893	1,127
営業外収益合計	1,502	1,636
営業外費用		
支払利息	398	337
為替差損	684	328
航空事業安全対策費	2,613	675
その他	135	357
営業外費用合計	3,831	1,697
経常利益	17,011	8,751
特別利益		
固定資産売却益	—	10
特別利益合計	—	10
特別損失		
たな卸資産評価損	1,422	690
たな卸資産廃棄損	—	384
固定資産除売却損	93	39
環境対策引当金繰入額	234	5
投資有価証券評価損	2,328	0
損害賠償引当金繰入額	6,779	—
貸倒引当金繰入額	300	—
その他	0	1
特別損失合計	11,157	1,121
税金等調整前四半期純利益	5,854	7,641
法人税、住民税及び事業税	4,046	4,544
法人税等調整額	2,068	△226
法人税等合計	6,115	4,317
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△260	3,323
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3,951	434
四半期純利益	3,691	2,888

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3,951	434
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△260	3,323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,005	△2,537
為替換算調整勘定	△3,166	△3,306
その他の包括利益合計	△8,171	△5,844
四半期包括利益	△8,432	△2,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,990	△1,764
少数株主に係る四半期包括利益	△5,441	△757

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,854	7,641
減価償却費	10,258	9,348
持分法による投資損益(△は益)	0	△2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	496	△15
退職給付引当金の増減額(△は減少)	373	148
賞与引当金の増減額(△は減少)	△104	△187
受取利息及び受取配当金	△608	△506
支払利息	398	337
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	2,328	△1
有形固定資産売却損益(△は益)	92	29
売上債権の増減額(△は増加)	14,375	249
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,365	2,922
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,266	△1,883
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,909	△3,813
未払費用の増減額(△は減少)	33	1,365
役員賞与の支給額	△322	△329
損害賠償引当金の繰入額	6,779	—
その他	905	△877
小計	32,317	14,426
利息及び配当金の受取額	608	506
利息の支払額	△398	△337
損害賠償金の支払額	—	△457
法人税等の支払額	△3,910	△7,533
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,617	6,605
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△25,482	△15,008
定期預金の払戻による収入	5,250	12,839
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△904	△924
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	2,220	1,545
有形固定資産の取得による支出	△8,175	△10,083
有形固定資産の売却による収入	66	22
貸付けによる支出	△30	△11
貸付金の回収による収入	115	39
その他	△117	△71
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,057	△11,652

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6,304	3,800
長期借入れによる収入	162	156
長期借入金の返済による支出	△277	△588
自己株式の取得による支出	△1	△1
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△1,605	△1,446
少数株主への配当金の支払額	△1,349	△1,673
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,374	248
現金及び現金同等物に係る換算差額	△765	△751
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,579	△5,550
現金及び現金同等物の期首残高	30,189	22,902
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,610	17,352

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結 財務諸表 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	126,454	23,156	40,713	14,570	6,011	210,906	—	210,906
セグメント間の内部売上高 又は振替高	52,121	23	1,341	1,395	5,493	60,376	(60,376)	—
計	178,575	23,180	42,055	15,965	11,505	271,282	(60,376)	210,906
セグメント利益又は損失(△)	13,088	1,958	3,957	1,798	△1,139	19,663	(323)	19,340

(注) 1. セグメント利益又は損失(営業利益)の調整額△323百万円には、セグメント間取引消去1,297百万円及び配賦不能営業費用△1,620百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に関わる費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

(1) 北米 …米国

(2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド

(3) 欧州 …ベルギー、英国、チェコ

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結 財務諸表 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	107,755	17,172	42,423	16,139	6,342	189,833	—	189,833
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45,997	6	1,063	1,708	6,193	54,970	(54,970)	—
計	153,752	17,179	43,486	17,848	12,536	244,803	(54,970)	189,833
セグメント利益又は損失(△)	7,275	△982	3,040	1,510	△1,179	9,664	(851)	8,812

(注) 1. セグメント利益または損失(営業利益)の調整額△851百万円には、セグメント間取引消去898百万円及び配賦不能営業費用△1,749百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に関わる費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

(1) 北米 …米国

(2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド

(3) 欧州 …ベルギー、英国、チェコ

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。